

体力測定・コース・展示など

大にぎわいの1日
5人が入会

中区友の会フェスタ



たくさんの見学者であふれる会場

「中区友の会フェスタ」を4月15日(土)、ソフィア堺ギャラリーで開きました。一昨年に続く2回目です。

会場には4力所の「ともの家」紹介コーナー、写真・水彩画作品の展示、山登りやウォーキング案内など、多彩に展示されました。協力団体の新日本婦人の会、年金者組合のコーナーも設置されました。

今回、会場の一角をイベントコーナーにしました。午後からコース、ギター演奏、太極拳紹介、体操講習などを行いました。最後は景品付きじゃんけん大会で締めくくり。

午前10時から午後3時まで、380人ほどの来場がありました。感想アンケートをお願いしたところ、81人が出してくれました。なお、友の会に5人が入会してくれました。

(林 正二郎)



堺区ブロック 春のつどい

多彩な演目に
笑顔あふれて

4月15日にみみはらホールで「堺区ブロックの春のつどい」が開かれ、4支部の友の会・職員合わせて93人が参加しました。

ブロック長の亀田さんの開会挨拶のあと、同仁会の穴井専務が挨拶。その後上品なお弁当を食べながらの歓談、各支部紹介がありました。リニューアルオープンする耳原歯科診療所の紹介もありました。

支部の出し物は、東西支部の脳トレと歌声、大浜支

部の獅子舞、怒りの5人衆、歌と踊り、と多彩でした。参加者も一緒に体操で身体を動かし、歌を唄いました。そして事務局による○クイズ大会。最後はじゃんけん入賞者を決め、入賞者には防災グッズが当たりました。

大浜支部長の島谷さんの閉会の挨拶で幕を閉じました。ご参加の皆さんに、楽しんでいただけたことと思います。

(事務局 藤原 結樹)

介護
の現場から
⑫訪問看護
ステーション

宮川 光代

知識と優しさ
明るさを持つて

訪問看護ステーションをセンター化して1年が

置が実現しました。看護師とリハビリスタッフと

経過しました。ひまわり会の看多機(看護小規模多機能型居宅介護事業所)への出向や、体制整備など目まぐるしく経過した1年でした。そして、ファミリーエリアにもリハビリスタッフの配

に応じた支援を行ったり、旺盛に活動しています。この間、複数のご自宅での看取りに関わらせていただき、「本人の望んでいた最期が迎えられた」「あなたたちがいたからできた」「不安で仕方がなかったが支えてもらった」などの有り難いお言葉をいただきました。生活をしながら24時間の電話連絡に対応し、雨の日も炎天下も訪問をする訪問看護は、人材の確保・定着への援助が極めて大切です。一人ひとりの職員がやりがいを持ち、知識と優しさ明るさを持つて利用者宅を訪問し、療養生活の援助ができるよう頑張ります。



みみはらホール

堺区西湊町

芹生 智子(48歳)

新病院の地域交流ゾーンのみみはらホールを、コースやつどいの会場として利用させてもらっています。

隅々まで

中区堀上町

小林 秀子(61歳)

今回も隅から隅まで読みました。読みやすくてあるので、毎回楽しみです。

戦争の語り部

富田林市

林 研(66歳)

寄稿「私の戦争体験」には毎回感動しています。小学校で英語の授業なんかするより、戦争の語り部の話を聞く時間を作るのが良いと思います。

暖かくなりました

西区宮下町

山内 あき子(21歳)

三月に入り、すっかり日差しも明るくなりました。温かくなったので、土日の学校の休みの日にはお散歩して、日頃の運動不足を解消したいです。

初挑戦

高石市羽衣

松本 英彦(49歳)

最近みみはら友の会に入会させてもらいました。パズル初挑戦！

勉強になります

堺区協和町

金本 正光(63歳)

リム・ボン先生の連載毎回勉強になり、これからも楽しみにしています。

手を差し伸べて

高石市西取石

辻野 春江(69歳)

老人と若者に広がる貧困について切実な思いがしました。老後の不安な生活は払拭できないですね。弱者に手を差し伸べて欲しいです。

感謝

西区津久野町

水野 茂子(74歳)

自転車利用で病院へ行くのですが、いつも置き場の方の優しさに感謝いたしております。混んでいて置き場探しに迷っていても「置いてきや」と言ってくれ、助けていただいています。ありがとうございます。

うごきます。



田窪 澄子